

5. 重点施策の具体的なスケジュール

実施施策（54 施策）の中から、交通基本計画で示された将来目標実現のため重点的に取り組むべき施策の具体的なスケジュールを示す。

〔将来目標①〕 新時代に向けた地域活力を創出する交通

〔将来目標②〕 安心・安全で住みやすいまちの交通

〔将来目標③〕 美しい自然環境や景観を活かし、人を呼寄せまちの交通

■ : 実施 ■ : 以降も実施を予定

①A-1：(仮称) 中部東道路の整備推進

「ハシゴ道路ネットワーク」が完成しても、本市の多くが那覇空港からの一定時間圏域外であり、観光振興、産業振興、物流円滑化、地域活性化、救急救命・防災等の観点から必要な道路であるため、市において道路の必要性や整備効果等をまとめ、事業化の実現に向けて関係機関と連携を図ります。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
基礎調査	■	■										
事業化に向けた調査・検討			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

②A-2：(仮称) うるま IC 検討・可能性調査

地域活性化の観点から新規 IC の位置や整備効果を市において検証し、周辺土地利用との整合を踏まえた IC の必要性を検討します。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
IC可能性調査	■	■										
事業化に向けた調査・検討				■	■	■	■	■	■	■	■	■

③B-3：県道の整備推進（伊計平良川線（宮城島工区）、(仮称) 勝連半島南側道路）

事業中の県道整備や事業化に向けて取り組んでいる県道整備について、沖縄県と協力し整備を推進します。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
事業推進	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

④F-1：交通結節点の整備（ア）安慶名周辺交通拠点の整備検討（広域交通結節点整備）

本市の北部地域(石川)と東部地域(与那城・勝連)が交わり、複合中心拠点として都市機能の集積を図る安慶名地区においては、周辺に高等学校が3校立地していることもあり、交通結節点としての需要が見込まれるため、交通の拠点としての基礎調査を行い、整備実現に向けた基本構想等（基本計画）の策定に向けて取り組みます。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
基礎調査・計画策定	■	■	■									
事業者との協議				■	■	■	■	■	■	■	■	■
事業化に向けた検討					■	■	■	■	■	■	■	■
整備						■	■	■	■	■	■	■

: 実施
 : 以降も実施を予定

⑤F-1：交通結節点の整備 (イ) 石川IC周辺交通拠点の可能性検討 (広域交通結節点整備)

石川IC周辺は、地理的特性を活かした交通結節点のポテンシャルを発揮できるよう、交通拠点として整備することが可能か調査します。また、今後の旧石川庁舎一帯の産業基盤整備計画基本計画を踏まえ、総合的な観点もあわせて検討します。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
可能性調査												
関係機関協議												
事業者との協議												
事業化に向けた検討												
整備												

⑥G-1：コミュニティ交通 (バス・タクシー) の導入検討

公共交通空白地域の解消並びに既設バス路線の補完を行うことを目的とし、誰もが便利に利用できるための移動手段としてコミュニティ交通の実証実験の推進及び導入に向けた検討を行います。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
基礎調査												
社会実験計画の策定												
社会実験の実施・評価												
地域公共交通計画の策定												
本格導入に向けた準備・調整												
本格運行開始												
評価・改善												

⑦G-2：デマンド型交通 (デマンドバス・乗合タクシー) の導入検討

既設のバス路線やコミュニティ交通で補えない地域においては、買い物等おでかけ時の困難解消のため、自宅から最寄りの公共交通機関までのいわゆる2次交通について、デマンド型交通の実証実験の推進及び導入に向けた検討を行います。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
基礎調査												
社会実験計画の策定												
社会実験の実施・評価												
地域公共交通計画の策定												
本格導入に向けた準備・調整												
本格運行開始												
評価・改善												

⑧G-3：グリーンスローモビリティの活用

給油所がない津堅島や給油所まで遠い島しょ地域等の限られたエリアにおいては、電気自動車の優位性を活かし、住民の日常的な移動手段や観光客の移動利便性向上のため、実証実験の推進及び導入に向けた検討を行います。さらに、市街地内における活用についても検討します。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
社会実験の実施・評価												
地域公共交通計画の策定												
本格導入に向けた準備・調整												
本格運行開始												
評価・改善												

: 実施
 : 以降も実施を予定

⑨G-4：自家用有償旅客運送の導入検討

東部地域・島しょ地域をはじめとする、交通不便地域において、住民の移動手段確保のために自家用有償旅客運送の導入に向けた検討を行います。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
基礎調査・実施主体の検討												
社会実験の実施・評価												
地域公共交通計画の策定												
本格導入に向けた準備・調整												
本格運行開始												
評価・改善												

⑩G-5：公共施設間連絡バス運行の維持・拡充検討

現在市が無償で運行している公共施設間連絡バスについて、便数や停留所などの運行形態を見直しながら、無償で一部地域を運行する現在の方式については、将来的に【G-1】コミュニティ交通（有償）に移行するか現行のままで維持拡充を行うかを総合的に判断します。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
維持・拡充検討調査												
地域公共交通計画の策定												
新たな運行形態の構築												
評価・改善												

⑪H-2：モビリティ・マネジメント

「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしく）利用する状態」へ転換できるよう、個別的に働きかけ、自発的な行動の転換を促すための取り組みを継続的に取り組みます。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031以降 (R13以降)
実施												
評価・改善												